大阪府大東市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和４年度	令和５年度	計	令和５年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	21,251,893	7,209,329	28,461,222	約５６％	後年度における森林の整備及びその促進に関する施策に活用する。
譲与額（円）	37,958,000	12,890,000	50,848,000		

■令和５年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち森林環境譲与税	
森林整備	危険木等伐採等	4,952,360	4,952,360	令和２年度に実施した森林現況調査で判明した危険木の継続的な伐採等を実施した。
森林整備	森林現況調査（危険木等調査）	1,837,000	1,837,000	新たな林道沿いの森林を整備するため、森林の現況を把握する森林調査を実施した。
木材利用	木質バイオマス利用促進	419,969	419,969	木質バイオマスの有効活用に取り組んでいる本市事業所へ搬出可能な伐採樹木を搬出し、木材の資源化を図った。
基金積立		5,680,671	5,680,671	大東市森林環境譲与税基金

危険木等伐採の様子

木質バイオマス利用促進の様子

森林調査の様子

■本市の森林の概要等

〇市街化区域が隣接していることから、林業的な位置付けが難しく、市民の緑地としての役割が高くなっている。
〇野崎観音、飯盛山などの歴史的、文化的資源も数多く点在しており、特に飯盛山の山頂には、中世の山城跡「飯盛城跡」があり、貴重な歴史遺産が残存している。
〇以上から、この地域を、郷土の森林として身近に歴史や文化に接することができるようにし、市民の共有財産としての公益的機能の向上を図っていく。